

## 令和4年度 第1回 市営住宅運営委員会議事録

日 時：令和4年12月28日（水）13時30分～14時50分

場 所：富良野市複合庁舎 会議室D

出席委員：大西委員、斉藤委員、大佐古委員（遅参）、大高委員、北村委員、  
藤田委員、佐々木委員、吉中委員、山本委員（計9名）

事務局：北川建設水道部長、黒崎都市建築課長、伊藤住宅政策係長

○辞令交付 遅参の大佐古委員以外の8名に市長より委嘱辞令を交付

○市長挨拶

市営住宅は富良野市公営住宅長寿命化計画に基づき建設及び除却を進めております。

住生活基本計画は、市民がより良い生活を送るためのガイドラインのようなものです。様々な世代の多様な住環境における課題を解決していかなければなりません。本計画は富良野市の住宅施策の方向性を示す重要な計画なので、皆さんの建設的なご意見、ご審議をお願いします。

○委員長及び副委員長選出

委員長に佐々木委員、副委員長に大佐古委員を選出

○議事に関する主な質問及び意見

報告－1 市営住宅等管理状況について

（委員）応募倍率について、山部地区や東山地区の公住には空き住戸が多くあるように見受けられるが、そこも含めての数字なのでしょうか？

（事務局）耐用年数を過ぎた住戸は政策空家として空家になっても募集を行わないため、応募倍率には反映しません。

報告－2 市営住宅建設工事等について

（委員）今後もこのような年次計画で進んでいくのでしょうか？ 今後の計画について教えてください。

（事務局）解体については空いた住棟から進めていきますが、建設については予算の都合上本年度で一旦ストップし、状況を見て再開していく考えを持っています。

（委員）政策空家の中に、管理が行き届いていなく、落雪等の発生が危惧されたり災害や犯罪の温床になり得る状態にあるものが見受けられます。また、民間の空家も増えてきているように感じるので、対策を検討して頂きたいと思います。

（事務局）どうしても入居している住宅の管理が優先されるので、空家については優先順位が低くなってしまいますが、草刈等の環境管理は行っていると

ころです。民間空家については、市の予算で除却等を行うのではなく所有者によって対応してもらうことが必要と考えています。

#### 議題－1 富良野市住生活基本計画の見直しについて

(委員) 今日提示されたものは目標として十分理解できますが、その目標を達成するための方針のようなものを提示してもらいたいと思います。

(事務局) 今回は目標までの提示としましたが、次回の委員会で施策に関するものやアクションプランを提示したいと考えています。

(委員) 東山では離農して富良野市街に移り住む方が多く、公営住宅を求めています。また、新規就農者の住む住宅として東山地区の公営住宅ができれば良いとの考えもあります。しかし現状としてその需要に対して公営住宅が減っている現状がミスマッチだと感じるのですが。

(事務局) 公営住宅は法の縛りがあり住宅困窮者でなければ入居できないため、農業の担い手の住居としては他の方法が取れないか、検討が進められています。

(委員) 公営住宅について、アスベストの問題は解消されているのか？

(事務局) 古い住宅にはアスベスト混入建材は使用されているが、使用中では飛散することはありません。解体に向けては事前に調査し、水を撒きながら作業する等の対策を行っています。

○閉会